

教 師 ノ ー ト

日付	2020年 4月19日
単元	イースター
テーマ	信仰
タイトル	復活を信じなかったトマス
テキスト	ヨハネ20:24—29
参照箇所	暗唱聖句(教会で使用している聖書訳を記入して下さい) ヨハネ20:29
AG 日曜学校教案参照箇所	小下3-5 小下2-5 幼稚2-3
□導入	<p>メッセージの本題に入る前に、「今、外は雨が降っているよ」と言われたらどうしてそれを信じますか？あなたは、イエスさまが復活して今も生きているということをどうやって信じますか？どうやって証明しますか？など問いかけると、興味を起すことができるでしょう。</p> <p>☞復活の証拠についての例話(小上第3巻p309参照) 2人の学者がイエスさまの復活がウソだということを証明しようとして研究をはじめたところ、2人とも、逆に復活は事実だという結論に導かれたというお話</p> <p>☞「復活」を堂々と語ること(まして聞く人に理解させること)は、どんな熟練したメッセンジャーでも容易なことではありません。聖霊によるチカラと確信をもって語れるように充分お祈りしましょう。</p>
□ポイント1 トマスはイエス様がよみがえったことを信じませんでした	<p>20章19節～23節の経緯を簡潔に説明しましょう。教案幼稚科2巻のp156～157にわかりやすい要約があります、参考にしましょう。</p> <p>☆25節のように言ったトマスはどう思うか、こどもたちに問いかけましょう。疑い深い？素直？不信仰？勇気がある？ガンコ？合理的？ (ヨハネ福音書におけるトマスのキャラクターについては11:16と14:5の言動も参照)</p>
□ポイント2 トマスにイエス様は現われてくださいました	<p>弟子たちは、イエスさまを失って望みを失っていたばかりか、自分たちも逮捕されるかもしれないという恐怖からカギをかけた家の中にもっていました。</p> <p>イエスさまの復活の体は戸を通り抜けることができる霊の体である(1コリント15:35-49)と同時に、地上での肉体と同じように十字架の傷跡がありました。</p> <p>イエスさまはトマスの極めて個人的な要求に、応えるため、トマスのためだけに現れてくださいました。イエスさまは私たちひとりひとりの思いを大切にしてくださるお方であることがわかります。また、「信じる者になりなさい」と言われているように、復活を正真正銘に信じることは、わざわざイエスさまが個人的に現れてくださるほど、非常に重要なことなのです。復活を信じられない人が、信じられるように助けてくださるのは、復活のイエスさまご自身なのです。</p>

□ポイント3 見ないで信じる人が幸せな人です

トマスは触ることを要求していましたが、実際には見ることで信じました。（「私の神、私の主」という明確な告白は新約聖書中でも数少ない重要なものです。）しかしイエスさまは見ないで信じるものは幸いですといわれました。

イエスさまは目に見える証拠や理論的な説明によってではなく、弟子たち（キリストの証人）がイエスさまのことを伝えて、聞いた人がそれを信じるというやり方を、喜ばれます。

イエスさまは目には見えませんが、生きてはたらいしておられます。イエスさまは弟子たちの証しを聞いただけでは信じるができなかったトマスに、「見ないで信じるものは幸いです」と言われました。私たちも、目に見える証拠や理論ではなく、聖書に書いてある証言を信じる時、幸いなのです。

□結論 トマスと同じように、私たちも目に見えないイエスさまを信じていきましょう

□適用

あなたは、「死人が復活するわけがない」とか、「証拠がないのなら復活は信じられない」とか思っていますか？ また、「信じたいのに、どうしても素直に信じられない」とか、「心のどこかで疑ってしまっている」という人はいませんか？

だいじょうぶ、イエスさまは、そんなあなたを助けてくださいます。

イエスさまの復活を信じて生活していれば、イエスさまがあなたのそばにいることに気が付くときがあるはずですよ。

そのために、日ごろ「当たり前」と思っていることに目をとめよう。

遠足や運動会の日にお天気がよかった・・・ママがお菓子を買ってくれた・・・カゼが治った・・・など、これってイエスさまかも・・・と感謝してみよう。

「見ないで信じる人が幸いです」・・・って言うのは本当ですよ。でも、だからといって、イエスさまを感じることができないって言うてるんじゃない！ イエスさまは目には見えないけれどいつもあなたと一緒にいてくださいます。トマスのように、イエスさまを体験したいという思いで、信じて生活していれば、きっとあなたにも「イエス様が生きている本当の神様だ！」ということがわかるよ。

そして、体験したことを、おともだちや家族に証ししよう！